

事務事業名	農道維持事業	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>	所属G	農林道グループ	課長名	細木 浩之
施策名	(36)農業の振興	担当者名	山本 大策	電話番号	0854-40-1053
目的: 対 象	市内の農家	意 図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	(内線)	2403
基本事業名	(108)農業基盤の保全	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 0 0 1 項 目 中事業 中事業名 0 5 7 5 0 1		農道維持事業
目的: 対 象	担い手農家・担い手以外農家	意 図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。		農道維持事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
①農道の維持管理 農道の除草委託 ③集落間除草受付・支払 ③池月・平成トンネル防災設備保守点検業務 ④農道橋点検業務	②

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	30年度実績(30年度に行った主な活動) ①市内の農道照明等の電気料支払い ②農道の除草委託 ③集落間除草受付・支払 ④農道の維持修繕作業	元年度計画(元年度に計画する主な活動) ①市内の農道照明等の電気料支払い ②農道の除草委託 ③集落間除草受付・支払 ④農道の維持修繕作業 ⑤農道橋点検業務				
② 活動指標		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
ア	支払件数(工事・修繕・委託)	件	51	66	93	70
イ	契約件数	件	10	6	2	3
ウ	補修箇所数	箇所	15	34	54	40
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
	①農業従事者 ②市民	ア 市内の農業所得総額	億円	-3.4	-3.4	-2.0	-1.8
		イ 人口【国勢調査(推計)】	人	38,506	37,794	37,012	37,496
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (実績)	元年度 (計画)
	①安心・安全な農畜産物が生産でき、農家所得が向上する。	ア JA雲南販売額	億円	21.0	23.8	25.0	26.0
		イ 市内の農業所得総額	億円	-3.4	-3.4	-2.0	-1.8
		ウ					

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (30年度決算)		② コストの推移		単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(計画)
【消耗品費】146千円、【光熱水費】2,920千円、【修繕費】8,465千円、【通信運搬費】887千円、【手数料】5,366千円、【管理運営委託】1,648千円、【使用料】5千円、【工事材料費】223千円 合計額 19,660千円 ※H28年度より市全体の予算額		財源内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	14,219	15,379	19,660	13,162
			事業費計(A)	千円	14,219	15,379	19,660	13,162
		人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
			延べ業務時間	時間	30	30	30	
			人件費計(B)	千円	119	122	130	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	14,338	15,501	19,790	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・農道の供用開始より数年経過し、補修が必要な箇所が多数ある。 ・猪の仕業による法面の落石・側溝への土砂の堆積など頻発している。 ・農道橋の個別施設計画を策定し、定期点検を行うこととなっている。	必要な箇所について補修を行っている。	維持要望が多数寄せられる。

事務事業名	農道維持事業	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	現在最低限で適正な管理をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	廃止した場合、農産物の搬出に支障をきたし、農業振興の妨げとなる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名)	理由		管理業務であり統廃合できない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		農道の周辺除草は地元団体へ安価でお願いしている。また、トンネルの電気料等の経費であるため削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		市が管理すべき農道であり削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		公道であるため、誰でも利用できるため公平であり、市が管理すべきものである。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
D 公平性	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	農道の維持管理は適正にしており、災害を除いて通行できないという事案はなかった。		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
低下		×	×																	
	管理業務であり予算内で適正に維持することが重要である。	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		